

〔様式1〕 平成17年度 事務事業評価表																																									
記入年月日	平成17年4月22日		記入者		内線 49-2217																																				
部 名	土木部	課 名	南土木事務所	課長名	八木 博																																				
事務事業名	公共下水道維持補修事業																																								
予算上の事務事業名	公共下水道維持補修費																																								
1 総合計画における位置づけ	施策コード		32630																																						
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして																																								
政 策 名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます																																								
基本施策名	第6節 下水道の整備と管理				事業開始年度																																				
施 策 名	第3施策 下水道管理の充実				昭和63年以前 ▼																																				
2 実施根拠及び関連法令・条例等	下水道法第3条（管理）																																								
3 個別計画の概要	概要																																								
計画名																																									
計画年次	年度～	年度																																							
4 事業形態の区分	維持・管理・補修 ▼																																								
5 事業概要	<p>（1）事業の目的（何のために行うのかまたはもたらしたい成果）</p> <p>（2）対象（誰、何）</p> <p>下水道施設の点検、調査を計画的に行い、異常を速やかに発見し維持補修する。計画的、予防的な維持管理を行い、施設の機能を確保し、その使用期間の延命を図る。</p> <p>公供下水道整備済区域</p> <p>（3）平成16年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。</p> <p>下水道施設修繕 修繕 80件 内訳 汚水桝・取付管等の修繕 14件、 人孔蓋の修繕 45件、 マンホ - ルポンプ施設の修繕 2件、 管きよの修繕 3件、 その他16件</p>																																								
6 関連・類似事業や他市の状況	類似施設がある他市においても同様である。																																								
7 事業費の推移	〔単位：千円〕																																								
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)																																				
事業費	48,970	69,741	34,181	33,579	33,579																																				
一般財源	17,718	11,399	20,956	5,474	5,474																																				
受益者負担金	31,252	58,342	13,225	28,105	28,105																																				
その他の特定財源	0	0	0	0	0																																				
人件費の合計	8,390	8,010	8,070	8,070	8,070																																				
事業コスト合計(a)	57,360	77,751	42,251	41,649	41,649																																				
8 事業効率・・・（複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>主たる事業名</th> <th colspan="3">施設修繕料</th> <th>対象名称 (単位)</th> <th>修繕件数</th> </tr> <tr> <th>年 度</th> <th>平成14年度(決算)</th> <th>平成15年度(決算)</th> <th>平成16年度(決算見込)</th> <th>平成17年度(予算)</th> <th>平成18年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業コスト(主たる事業)</td> <td>57,360</td> <td>77,751</td> <td>42,251</td> <td>41,649</td> <td>41,649</td> </tr> <tr> <td>対象数</td> <td>95</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>単位あたり経費(円)</td> <td>603,789</td> <td>971,888</td> <td>528,138</td> <td>520,613</td> <td>520,613</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td></td> <td>1.61</td> <td>0.54</td> <td>0.99</td> <td>1.00</td> </tr> </tbody> </table>					主たる事業名	施設修繕料			対象名称 (単位)	修繕件数	年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	事業コスト(主たる事業)	57,360	77,751	42,251	41,649	41,649	対象数	95	80	80	80	80	単位あたり経費(円)	603,789	971,888	528,138	520,613	520,613	前年度比		1.61	0.54	0.99	1.00
主たる事業名	施設修繕料			対象名称 (単位)	修繕件数																																				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)																																				
事業コスト(主たる事業)	57,360	77,751	42,251	41,649	41,649																																				
対象数	95	80	80	80	80																																				
単位あたり経費(円)	603,789	971,888	528,138	520,613	520,613																																				
前年度比		1.61	0.54	0.99	1.00																																				

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	施設補修件数	指標式と指標の説明	施設の補修		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	95.0	80.0	80.0		
目標	95.0	80.0	80.0	80.0	80.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	施設補修率(%)	指標式と指標の説明	補修件数/補修を必要とする件数 補修率の増減により施設維持の健全性をみる。		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[ ] : 良好な状態を維持する事業				
	[ ] : 概ね良好な状況である事業				
	[ ] : 見直しを行う必要がある事業				
	[ ] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		施設の現状機能を回復させる維持補修を行うことにより、施設(耐用年数)の延命を図ることが出来、経費の節約につながる。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
			経年劣化に対する維持補修費の増加が懸念される。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			